

平成 27 年度用小学校音楽

指導計画案

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・インターネット上で公開されている本資料は、弊社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽」に基づいて作成されております。

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、国立教育政策研究所が作成した「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考にして、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、1 時間当たり 1～2 項目に精選して評価規準を示しています。学習指導要領との関連で示した項目がすべての評価項目に反映されていないことがあります。学習内容の中には反映されていますので、授業時数や1 年間の評価計画に応じて、ご設定ください。

【2 学期制への対応について】

- ・本資料は 2 学期制、3 学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。なお、各題材の関連やくくりなどを確認するための題材の系統性につきましては、「6 年間の題材の系統一覧」をご覧ください。

題材名	1. 豊かな歌声をひびかせよう (4～5月)	扱い時数の目安
		5時間
題材のねらい	●音程やリズムに気を付けて視唱したり，曲想にふさわしい歌い方を工夫して思いや意図をもって歌ったりする。	
題材の意図	<p>この題材では，歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫しながら，自然で無理のない，響きのある歌い方で歌う学習を進めます。</p> <p>歌詞の一つ一つの言葉に込められた気持ちを感じ取りながら，それにふさわしい歌い方を工夫するだけでなく，楽譜に示された旋律の動きや強弱記号，速度記号からも，曲に込められた気持ちを感じ取るようにします。</p> <p>ここでの学習は，題材「5. 詩と音楽を味わおう」で学習する，歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながら歌う学習に関連しています。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち，(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符，休符，記号や音楽にかかわる用語	
A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ	【共通事項】ア (ア) 音色 ，リズム，速度，旋律， 強弱 ，音の重なり， フレーズ (イ) 反復，変化 イ 速度記号	

※本題材の学習内容に関連する【共通事項】を例示し，核となるものについては，**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①呼吸や発声の仕方に気を付けて，明るく響きのある声で歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容や曲想を生かした表現に関心を持ち，それに合う歌い方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。	①旋律の反復，変化を聴き取り，それらと強弱や速度とのかかわり合いから曲想を感じ取って，歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②旋律の反復や変化を聴き取り，それらと強弱とのかかわり合いから曲想を感じ取って，歌と副次的な旋律を重ねて合唱奏の表現の仕方を工夫し，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	①楽譜を見て，音程やリズム，強弱などに気を付けながら，語感や旋律の特徴を生かして歌っている。 ②主な旋律や副次的な旋律，伴奏を聴きながら，歌声と楽器を合わせ，曲想にふさわしい演奏をしている。	/

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
明るくひびきのある声で歌いましょう。	明日という大空	1	<ul style="list-style-type: none"> ●曲想をつかみ、声の出し方に気を付けて歌う。 ●歌詞の内容や強弱記号を基に、曲想に合った表現の仕方を工夫して歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆呼吸や発声の仕方に気を付けて、明るく響きのある声で歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 演奏観察，発言内容】 ◆旋律の反復，変化を聴き取り，それらと強弱や速度とのかかわり合いから曲想を感じ取って，歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【創① 発言内容，演奏観察，演奏聴取】
曲のまとまりや強さの変化に気を付けて，曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。	◎おぼろ月夜	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ●情景を想像しながら曲全体の感じをつかむ。 ●旋律や強弱の変化から曲想を感じ取り，主な旋律の歌い方を工夫する。 ●語感や旋律の特徴を生かして，互いの旋律を聴き合いながら二部合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歌詞の内容や曲想を生かした表現に関心をもち，それに合う歌い方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 演奏観察，表情観察，ワークシート】 ◆楽譜を見て，音程やリズム，強弱などに気を付けながら，語感や旋律の特徴を生かして歌っている。 【技① 演奏聴取】
曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。	星空はいつも	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ●歌詞を読んだり範唱を聴いたりして，曲全体の感じをつかみ，歌い方の工夫への思いをもつ。 ●歌詞の内容や強弱，速度記号に気を付け，歌い方を工夫して主な旋律を歌う。 ●主な旋律と下声部の旋律との響き合いを感じ取って二部合唱する。 ●副次的な旋律を楽器で演奏し，歌と重ねて合唱奏する。 ●互いの演奏を聴き合い，響きの違いや表現の工夫のよさを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歌詞の内容や曲想を生かした表現に関心をもち，それに合う歌い方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 表情観察，演奏観察，発言内容】 ◆旋律の反復や変化を聴き取り，それらと強弱とのかかわり合いから曲想を感じ取って，歌と副次的な旋律を重ねて合唱奏の表現の仕方を工夫し，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【創② 演奏聴取，発言内容】 ◆主な旋律や副次的な旋律，伴奏を聴きながら，歌声と楽器を合わせ，曲想にふさわしい演奏をしている。 【技② 演奏聴取】

題材名	2. いろいろな音のひびきを味わおう (6～7月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏したり、楽器の組合せから生まれる響きの美しさを味わって聴いたりする。 ●楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。 	
題材の意図	<p>この題材では、役割の異なるパートの音が重なり合う響きを感じ取って、楽器の特徴を生かした合奏や音楽づくりをします。また、オーケストラの様々な楽器の組合せから生まれる響きを味わいます。こうした表現と鑑賞を関連付けた題材構成により、楽器の組合せから生まれる響きの美しさを味わうことをねらっています。特に、合奏や楽器を使った音楽づくりの活動においては、パートの役割や楽器の特徴を生かすように表現を工夫しながら学習を進めることが大切です。</p> <p>ここでは、歌詞の内容と時期を考慮して、共通教材の「われは海の子」を配置しました。楽器の響きを味わう教材が多い中で、歌唱の教材をバランスよく取り上げるねらいもありますので、子供たちの心情と合わせて適宜取り扱うようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱イ・ウ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ (3) 音楽づくりア・イ</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、拍の流れ、フレーズ</p> <p>(イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①楽器の響きに興味・関心をもち、範奏を聴いて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②オーケストラの響きに興味・関心をもち、楽器の響きや楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>③声の響きに興味・関心をもち、範唱を聴いて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>④楽器の音色やリズムの特徴に興味・関心をもち、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>①楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、その重なり合いによって生まれる響きのよさを感じ取りながら、パートの役割を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。</p> <p>②旋律やリズムの特徴、強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取って、曲想にふさわしい歌い方を工夫している。</p> <p>③楽器の音色やリズムを聴き取り、その組合せによる響きのよさや面白さを感じ取りながら、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>①楽器の音色に気を付け、それらが重なり合う響きを聴き合いながら、パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏している。</p> <p>②いろいろな音楽表現から得た発想を基に、楽器の特徴を生かしたリズムをつくり、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かして、リズムアンサンブルをつくっている。</p>	<p>①楽器の音色、旋律の反復や変化、拍子の違いを聴き取り、それらの働きから生まれるよさや面白さを感じ取り、楽曲の構造を理解したり楽曲全体にわたる曲想を味わったりして聴いている。</p> <p>②曲想とその変化の特徴、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを理解して聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏しましょう。	ラバーズ コンチェルト ♪メヌエット	1 2 3	<p>●「ラバーズ コンチェルト」の指導用CDの範奏を聴いて、楽曲の特徴をつかむ。</p> <p>●旋律の特徴から各パートにふさわしい楽器を選び、音色や響きを生かして演奏する。</p> <p>●各パートの役割について考え、全体のバランスを工夫して演奏する。</p> <p>●リズム伴奏を工夫して加え、グループごとに発表し、響きの違いを楽しんで聴き合う。</p> <p>●メヌエット」を聴き、「ラバーズ コンチェルト」との楽器の音色や曲想の違いを感じ取る。</p>	<p>◆楽器の響きに興味・関心をもち、範奏を聴いて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関① 発言内容、行動観察】</p> <p>◆楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、その重なり合いによって生まれる響きのよさを感じ取りながら、パートの役割を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創① 演奏聴取、発言内容】</p> <p>◆楽器の音色に気を付け、それらが重なり合う響きを聴き合いながら、パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏している。</p> <p>【技① 演奏聴取】</p> <p>◆楽器の音色、旋律の反復や変化、拍子の違いを聴き取り、それらの働きから生まれるよさや面白さを感じ取り、楽曲の構造を理解したり楽曲全体にわたる曲想を味わったりして聴いている。</p> <p>【鑑① 発言内容、行動観察】</p>
オーケストラのひびきを味わいながらききましょう。	♪木星	4 5	<p>●オーケストラの楽器のいろいろな音色を味わって聴き、楽曲全体にわたる曲想を感じ取る。</p> <p>●旋律の反復や変化、音色の変化などから楽曲の構造に気付いて聴く。</p> <p>●曲想の移り変わり、オーケストラの豊かな響きに変化していくよさや面白さを味わって聴く。</p>	<p>◆オーケストラの響きに興味・関心をもち、楽器の響きや楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関② 発言内容、ワークシート】</p> <p>◆楽器の音色、旋律の反復や変化、拍子の違いを聴き取り、それらの働きから生まれるよさや面白さを感じ取り、楽曲の構造を理解したり楽曲全体にわたる曲想を味わったりして聴いている。</p> <p>【鑑① 発言内容、ワークシート】</p> <p>◆曲想とその変化の特徴、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを理解して聴いている。</p> <p>【鑑② 発言内容、ワークシート】</p>
曲想を生かして歌いましょう。	◎われは海の子	6	<p>●指導用CDの範唱を聴き、曲の感じをつかんで歌詞唱する。</p> <p>●旋律やリズムの特徴、強弱の変化に気付き、曲想に合った表現を工夫して歌う。</p>	<p>◆声の響きに興味・関心をもち、範唱を聴いて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関③ 行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆旋律やリズムの特徴、強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取って、曲想にふさわしい歌い方を工夫している。</p> <p>【創② 演奏観察、演奏聴取】</p>
打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆リズムをつかってアンサンブル	7 8	<p>●三人一組になり、楽器の音色やその組合せによる響きを生かしながら、反復や変化を使って短いまとまりのあるリズムをつくり、リズムアンサンブルを演奏する。</p> <p>●つくったリズムを組み合わせて、反復や問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かしながらリズムアンサンブルをつくる。</p>	<p>◆楽器の音色やリズムの特徴に興味・関心をもち、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関④ 行動観察、ワークシート】</p> <p>◆楽器の音色やリズムを聴き取り、その組合せによる響きのよさや面白さを感じ取りながら、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係をを使って楽器の特徴を生かした音楽をつくり、どのような音楽にするかについて見通しをもっている。</p> <p>【創③ 行動観察、演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆いろいろな音楽表現から得た発想を基に、楽器の特徴を生かしたリズムをつくり、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かして、リズムアンサンブルをつくっている。</p> <p>【技② 演奏聴取、ワークシート】</p>

題材名	3. 和音の美しさを味わおう (9～10月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●和音の響きの変化を感じ取りながら、各声部の歌声や楽器、全体の響き、伴奏を聴いて合唱したり合奏したりする。 ●和音に含まれる音を用いて、まとまりのある旋律をつくる。 	
題材の意図	<p>この題材では、和音及び和声の響きの美しさを味わうことを中心に学習を進めていきます。これまでも、様々な活動を通して、旋律や音が重なり合うきれいな響きを感じ取ってきましたが、ここでは合唱を通して和音の響きの美しさを味わったり、器楽合奏を通してイ短調の和音の響きやその移り変わりを感じ取ったりします。また、和音に含まれる音を使った旋律づくりを通して、和音の響きを味わいながらまとまりのある旋律をつくる力も育てます。</p> <p>なお、5年生で学習したハ長調のI, IV, V, V7と、イ短調のI, IV, V, V7との和音の響きの違いを味わうことができる器楽教材を配置していますので、合奏を通して長調と短調の和音の移り変わりやその響きの美しさを味わうようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ (3) 音楽づくりイ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 旋律, 音の重なり, 和声の響き, 調, フレーズ</p> <p>(イ) 反復, 変化, 音楽の縦と横の関係</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①各声部の歌声や全体の響きに興味・関心を持ち、自分の声を調和させて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②ハ長調やイ短調の楽譜を見たり範奏を聴いたりして、楽器で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>③和音の響きや移り変わりに興味・関心を持ち、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくり、反復や変化、音楽の縦と横の関係を生かしてまとまりのある旋律に仕上げる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>①歌声の重なり、和音やその移り変わり、音楽の縦と横の関係を聴き取り、その働きが生み出す響きのよさを感じ取りながら、歌い方を工夫して、より美しい響きを自ら求めている。</p> <p>②楽器の音の重なり、和音やその移り変わり、調の違い、音楽の縦と横の関係を聴き取り、その働きが生み出す響きのよさを感じ取りながら、楽器の演奏の仕方を工夫して、より美しい響きを自ら求めている。</p> <p>③和音やその移り変わりを聴き取り、その働きが生み出す響きのよさを感じ取りながら、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくり、反復や変化、音楽の縦と横の関係を生かして、まとまりのある旋律に仕上げることについて見通しをもっている。</p>	<p>①互いの歌声を聴き合いながら、バランスに気を付け、友達の歌声と溶け合うように歌っている。</p> <p>②互いの音を聴き合いながら、和声の響きの違いや旋律の重なり方の違いを生かして、バランスのとれた演奏をしている。</p> <p>③和音に含まれる音や与えられたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。</p>	

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	星の世界	1 2 3	<p>●指導用 CD の範唱を聴いたり歌詞を音読したりして、曲全体の感じをつかむ。</p> <p>●旋律の動きに気を付け、伴奏の響きを感じ取りながら主な旋律を歌う。</p> <p>●響きを確認しながら②と③のパートを歌う。</p> <p>●主な旋律とのバランスに気を付けながら互いの声を聴き合って合唱する。</p> <p>●和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら合唱する。</p>	<p>◆各声部の歌声や全体の響きに興味・関心をもち、自分の声を調和させて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 発言内容、行動観察】</p> <p>◆歌声の重なり、和音やその移り変わり、音楽の縦と横の関係を聴き取り、その働きが生み出す響きのよさを感じ取りながら、歌い方を工夫して、より美しい響きを自ら求めている。 【創① 演奏聴取】</p> <p>◆互いの歌声を聴き合いながら、バランスに気を付け、友達の歌声と溶け合うように歌っている。 【技① 演奏聴取】</p>
和音の移り変わりを感じながら演奏しましょう。	雨のうた	4 5 6	<p>●短調と長調の響きの違いに気を付けながら、指導用 CD の範奏を聴き、曲の感じをつかむ。</p> <p>●主な旋律と副次的な旋律をリコーダーで演奏する。</p> <p>●短調の和音の響きを感じ取りながら、和音と低音のパートを演奏する。</p> <p>●長調と短調の和音の響きの違いを感じ取りながら、表現の仕方を工夫して演奏する。</p> <p>●旋律の重なり方の違いを生かし、各パートのバランスを考えて合奏する。</p>	<p>◆ハ長調やイ短調の楽譜を見たり範奏を聴いたりして、楽器で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 演奏観察】</p> <p>◆楽器の音の重なり、和音やその移り変わり、調の違い、音楽の縦と横の関係を聴き取り、その働きが生み出す響きのよさを感じ取りながら、楽器の演奏の仕方を工夫して、より美しい響きを自ら求めている。 【創② 演奏聴取】</p> <p>◆互いの音を聴き合いながら、和声の響きの違いや旋律の重なり方の違いを生かして、バランスのとれた演奏をしている。 【技② 演奏聴取】</p>
和音にふくまれる音を使って旋律をつくりましょう。	☆和音の音で旋律づくり	7 8	<p>●ハ長調の和音と低音を鍵盤楽器で演奏して、響きの移り変わりを確かめる。</p> <p>●和音に含まれる音を使って、示されたリズムで旋律をつくる。</p> <p>●つくった旋律のリズムを工夫して、気に入った旋律に仕上げる。</p> <p>●つくった旋律を和音伴奏と合わせて演奏し、和音の響きやその移り変わりの美しさを味わう。</p>	<p>◆和音の響きや移り変わりに興味・関心をもち、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくり、反復や変化、音楽の縦と横の関係を生かしてまとまりのある旋律に仕上げる学習に主体的に取り組もうとしている。 【関③ 演奏聴取、行動観察】</p> <p>◆和音やその移り変わりを聴き取り、その働きが生み出す響きのよさを感じ取りながら、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくり、反復や変化、音楽の縦と横の関係を生かして、まとまりのある旋律に仕上げることについて見通しをもっている。 【創③ 演奏聴取、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆和音に含まれる音や与えられたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。 【技③ 演奏聴取、ワークシート】</p>

題材名	4. 曲想を味わおう (11月)	扱い時数の目安
		6時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●曲想にふさわしい表現を工夫し、旋律の特徴や重なり方を生かして歌ったり、パートの役割にふさわしい楽器や演奏の仕方演奏したりする。 ●曲想とその変化を感じ取りながら、旋律の特徴、反復や変化、強弱や速度などによる楽曲の構造を理解して聴く。 	
題材の意図	<p>これまで様々な活動を通して、旋律の音の上がり下がりやリズム、速度や強弱、和声の響きや調、そして旋律やリズムの反復や問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などについて学習してきました。この題材では、5年生に引き続き、これらのいろいろな音楽を形づくっている要素が一体となって醸し出す曲想を味わうための学習を進めます。その際、音楽を形づくっている要素やそれらの働きを手掛かりにして、作曲者の意図を考えたり楽曲に対する理解を深めたりしながら、曲想を生かした表現を工夫するようにします。</p> <p>また、鑑賞に当たっては、音楽を形づくっている要素のかかわり合いに気付きながら、曲想やその変化を感じ取って音楽を聴き、友達と話し合う活動などを通して、音楽を聴くことそのものの喜びを深めていくようにします。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ B鑑賞 ア・イ・ウ [共通事項] ア (ア) 音色, リズム, 速度, 旋律, 強弱, 音の重なり (イ) 反復, 変化	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①歌詞の内容や曲想を生かした表現に関心を持ち、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②旋律の特徴や、反復、変化などに興味・関心を持ち、曲想の変化を感じ取って聴く活動に主体的に取り組もうとしている。 ③パートの役割に興味・関心を持ち、曲想を生かした表現を工夫しながら、思いや意図をもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	①旋律の特徴や音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を生かした歌い方を工夫し、どのように歌うかについて、自分の思いや意図をもっている。 ②互いのパートの旋律や音の重なりを聴き取り、豊かに響き合うよさを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。	①歌詞の内容や曲想を生かした表現で歌っている。 ②速度や旋律の特徴、強弱の変化、重なり合う響きなどに気を付けて、パートの役割に合った楽器を組み合わせ、曲想にふさわしい表現で演奏している。	①旋律の反復や変化、強弱や速度の変化を聴き取り、それらが生み出す曲想の移り変わりを感じ取りながら、楽曲の構造を理解して聴いている。

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
旋律の音の上がり下がりや重なり方から、表現のしかたを考えて歌いましょう。	広い空の下で	1 2	<p>●歌詞を読んだり範唱を聴いたりして、曲の感じをつかんで主な旋律を歌う。</p> <p>●旋律の音の動きと歌詞の内容とのかかわり合いを理解して歌う。</p> <p>●旋律の音の動きやリズム、旋律の重なり方に気を付けて二部合唱する。</p> <p>●曲想を生かした表現を工夫して、二部合唱をする。</p> <p>●互いの歌声を聴き合い、二部合唱をする。</p>	<p>◆歌詞の内容や曲想を生かした表現に関心をもち、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関① 発言内容、演奏観察】</p> <p>◆旋律の特徴や音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を生かした歌い方を工夫し、どのように歌うかについて、自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創① 発言内容、演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆歌詞の内容や曲想を生かした表現で歌っている。</p> <p>【技① 演奏聴取】</p>
曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第5番 ♪ハンガリー舞曲 第5番 〈原曲〉	3	<p>●旋律の反復や変化に気を付けて聴く。</p> <p>●音楽に合わせて指揮のまねなどをしながら、速度や強弱、旋律の変化が生み出す曲想を感じ取って聴く。</p>	<p>◆旋律の特徴や、反復、変化などに興味・関心をもち、曲想の変化を感じ取って聴く活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関② 行動観察、発言内容】</p> <p>◆旋律の反復や変化、強弱や速度の変化を聴き取り、それらが生み出す曲想の移り変わりをを感じ取りながら、楽曲の構造を理解して聴いている。</p> <p>【鑑① 行動観察、ワークシート、発言内容】</p>
曲想を生かして合奏しましょう。	風を切って	4 5 6	<p>●楽曲全体の感じをつかんで歌詞唱する。</p> <p>●各パートの特徴や役割を考えて、楽器を選んで演奏する。</p> <p>●曲想にふさわしい表現を工夫して合奏する。</p> <p>●パートの役割に合った楽器を組み合わせ、曲想を生かした表現で合奏する。</p>	<p>◆パートの役割に興味・関心をもち、曲想を生かした表現を工夫しながら、思いや意図をもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関③ 発言内容、演奏観察】</p> <p>◆互いのパートの旋律や音の重なりを聴き取り、豊かに響き合うよさを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創② 発言内容、演奏観察、ワークシート】</p> <p>◆速度や旋律の特徴、強弱の変化、重なり合う響きなどに気を付けて、パートの役割に合った楽器を組み合わせ、曲想にふさわしい表現で演奏している。</p> <p>【技② 演奏聴取】</p>

題材名	5. 詩と音楽を味わおう (12月)	扱い時数の目安
		6時間
題材のねらい	●歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながら聴いたり、思いや意図をもって歌ったりする。	
題材の意図	我が国には、歌い継いでいきたい優れた歌曲や合唱曲がたくさんあります。これらの曲は、日本語の美しい歌詞と、言葉のもつ語感を大切にしておつくりされた旋律が一体となって、歌う人や聴く人の心をとらえます。 本題材では、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じ取りながら聴いたり、言葉のまとまりや語感を生かして歌ったりして、日本語の美しさを味わうようにします。また、歌詞を朗読したり曲に込められた作曲者の意図を考えたりして、歌詞と旋律が一体となった表現の仕方を工夫します。 鑑賞教材として配置されている滝 廉太郎の「花」, 「箱根八里」, さらに共通教材の「ふるさと」の歌詞には、小学生にとって理解が難しい言葉も含まれています。教科書を参考にして歌詞の内容を理解するとともに、朗読を通して言葉のもつリズムやアクセントを感じ取り、その情景を思い浮かべながら曲想を味わって聴いたり歌ったりしていきます。	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱イ・ウ・エ B鑑賞 ア・イ・ウ 〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 旋律 , 強弱, 音の重なり, フレーズ	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①詩と音楽が一体となった曲想を味わい、語感を生かして歌う活動に主体的に取り組もうとしている。 ②詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、合唱の響きを味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。 ③歌詞の表す情景や曲に込められた思いを感じ取りながら歌う活動に主体的に取り組もうとしている。	①互いの歌声、旋律や音の重なりを聴き取り、言葉のまとまりや語感と旋律とのかかわりを感じ取って、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②旋律の特徴や声の重なり合いを聴き取り、それらの働きと歌詞の表す情景や気持ちとのかかわり合いを感じ取り、曲想を生かした表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて、自分の思いや意図をもっている。	①言葉のまとまりや語感、重なり合う旋律の特徴を生かしながら、響きのある声で合唱している。 ②互いの声を聴き合い、自分の声を調和させながら合唱している。	①日本の歌曲の詩や旋律の美しさ、合唱形態の違いが生み出すそれぞれのよさを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わいながら聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲にこめられた思いを感じながら歌いましょう。	思い出のメロディー	1 2	<p>●歌詞を朗読し、言葉のリズムや内容を感じ取ったり、範唱を聴いて曲想をつかんだりして歌詞唱する。</p> <p>●言葉のまとまりに気を付けて、主な旋律の特徴をとらえて歌う。</p> <p>●副次的な旋律の特徴をとらえて歌う。</p> <p>●作曲者の思いを読み取り、言葉の繰り返しや強弱を工夫して、言葉のまとまりや語感を生かした二部合唱にする。</p>	<p>◆詩と音楽が一体となった曲想を味わい、語感を生かして歌う活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関① 発言内容、演奏観察】</p> <p>◆互いの歌声、旋律や音の重なりを聴き取り、言葉のまとまりや語感と旋律とのかかわりを感じ取って、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【創① 演奏聴取、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆言葉のまとまりや語感、重なり合う旋律の特徴を生かしながら、響きのある声で合唱している。</p> <p>【技① 演奏聴取】</p>
言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌曲を味わいましょう。	♪滝 廉太郎の歌曲 (花／箱根八里)	3	<p>●滝 廉太郎について知り、楽曲全体の雰囲気を感じ取って聴く。</p> <p>●「花」の言葉と旋律が結び付いたよさを味わって聴く。</p> <p>●「箱根八里」の言葉と旋律が結び付いたよさを味わって聴く。</p> <p>●合唱の演奏形態の違いによる歌曲の魅力を感じ取って聴く。</p>	<p>◆詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、合唱の響きを味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関② 行動観察、発言内容】</p> <p>◆日本の歌曲の詩や旋律の美しさ、合唱形態の違いが生み出すそれぞれのよさを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わいながら聴いている。</p> <p>【鑑① 行動観察、ワークシート、発言内容】</p>
歌詞の内容を理解して、曲想を味わいながら歌いましょう。	◎ふるさと	4 5 6	<p>●楽曲全体の感じをつかんで、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら主な旋律を歌う。</p> <p>●副次的な旋律の特徴をとらえて歌う。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、三部合唱する。</p> <p>●重なり合う響きを感じながら曲想を生かして三部合唱する。</p>	<p>◆歌詞の表す情景や曲に込められた思いを感じ取りながら歌う活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関③ 演奏観察、演奏聴取】</p> <p>◆旋律の特徴や声の重なり合いを聴き取り、それらの働きと歌詞の表す情景や気持ちとのかかわり合いを感じ取り、曲想を生かした表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて、自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創② 演奏聴取、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆互いの声を聴き合い、自分の声を調和させながら合唱している。</p> <p>【技② 演奏聴取】</p>

題材名	6. 日本と世界の音楽に親しもう (1月)	扱い時数の目安
		4時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●日本に古くから伝わる歌と楽器の音色を味わって、聴いたり歌ったりする。 ●世界の国々の楽器の音色の特徴や、音楽の雰囲気の違いに気を付けて聴き、諸外国の音楽に親しむ。 	
題材の意図	<p>この題材では、我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取ったり、そのよさを味わったりしながら、それぞれの音楽に親しんでいくことができるように学習を進めます。</p> <p>我が国には、長い間に日本独特の風土や民族性に合うように改良され、形づくられてきた音楽文化があることに気づき、興味・関心をもちながら、その特徴を感じ取ったり、その美しさを味わったりするようにします。また、諸外国にもそれぞれの国の風土や民族性によってはぐくまれてきた独自の文化があり、我が国とは違った音楽文化があることに気付くとともに、それぞれの国の音楽のよさを感じ取ること親しみをもち、身近なものにしていくようにします。</p> <p>5年生では「声」を中心にした教材を取り上げましたが、ここでは楽器に焦点を当てて取り上げていきます。雅楽「越天楽」の鑑賞と関連付けて、世界の国々の楽器の音色の特徴や音楽の雰囲気の違いを感じ取りながら、鑑賞の学習を進めます。</p> <p>こうした学習は、自国の芸術や文化に誇りをもつだけでなく、他国の芸術や文化を尊重する態度を養うことにもつながり、国際理解の一翼を担うものです。さらに、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて行われる中学校の鑑賞学習にもつながっていくものです。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ</p> <p>B鑑賞 ア・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色、リズム、速度、旋律、音階、拍の流れ</p> <p>(イ) 反復、変化</p>	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①日本に古くから伝わる音楽に関心を持ち、楽曲全体にわたる曲想を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②世界の国々の音楽に関心を持ち、それぞれの音楽の特徴を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>①日本に古くから伝わるリズムや旋律を聴き取り、それらが醸し出す雰囲気に浸りながら、呼吸や発音の仕方、速度を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①言葉のまとまりや語感、呼吸や発音の仕方に気を付けて、日本に古くから伝わるリズムや旋律に合う自然で無理のない歌い方で歌っている。</p>	<p>①雅楽の楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴を聴き取り、楽曲全体にわたる曲想を感じ取って聴いている。</p> <p>②楽器の音色の特徴や音楽の雰囲気の違いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、世界の国々の音楽の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。</p>

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
日本に古くから伝わる歌の特徴を感じ取って歌いましょう。	◎越天楽今様 ♪雅楽「越天楽」から	1 2	●雅楽「越天楽」を聴き、楽器の響きや曲想を感じ取る。 ●「越天楽今様」の歌詞の内容を理解し、発音や発声に気を付けて歌う。 ●日本に古くから伝わるリズムや旋律の動きを生かした歌い方を工夫して歌う。	◆日本に古くから伝わる音楽に関心をもち、楽曲全体にわたる曲想を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察】 ◆雅楽の楽器の音色，リズムや速度，旋律の特徴を聴き取り，楽曲全体にわたる曲想を感じ取って聴いている。 【鑑① 発言内容，行動観察，ワークシート】 ◆日本に古くから伝わるリズムや旋律を聴き取り，それらが醸し出す雰囲気に入りながら，呼吸や発音の仕方，速度を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【創① 発言内容，演奏観察】 ◆言葉のまとまりや語感，呼吸や発音の仕方に気を付けて，日本に古くから伝わるリズムや旋律に合う自然で無理のない歌い方で歌っている。 【技① 演奏聴取】
楽器による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪楽器による世界の国々の音楽	3 4	●それぞれの国の楽器やその音色に関心をもちて聴く。 ●それぞれの国の音楽を聴き，楽器の音色の特徴や音楽の雰囲気の違いを感じ取る。 ●それぞれの国の音楽の特徴や演奏のよさを感じ取って聴く。	◆世界の国々の音楽に関心をもち，それぞれの音楽の特徴を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関② 表情観察，行動観察】 ◆楽器の音色の特徴や音楽の雰囲気の違いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，世界の国々の音楽の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。 【鑑② 表情観察，発言内容，ワークシート】

題材名	7. 心をこめて表現しよう (2~3月)	扱い時数の目安
		6時間
題材のねらい	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	
題材の意図	<p>高学年では、表現と鑑賞の様々な活動を通して、音楽的な感性や表現の技能、鑑賞の能力などを段階的に高めてきました。6年生最後のこの題材では、小学校段階の学習のまとめとして、楽曲全体の曲想を味わい、それを生かして、みんなで声や気持ちを合わせて表現する喜びを味わいながら、合唱したり合奏したりすることができるように学習を展開していきます。</p> <p>卒業を控えたこの時期に、歌詞の内容から感じられる「気持ち」をとらえ、それに共感しながら心を込めて歌う活動を中心に進めていきます。そのためには単に歌うだけではなく、歌詞の言葉一つ一つにこれまでの学校生活の中でいろいろな思い出を重ねるなどして、実感のこもった歌い方を工夫するようにします。クラス全員で表現の工夫などについて話し合い、ともに音楽をつくり上げていく喜びを味わいながら、表現の質を高めて、小学校の音楽学習を締めくくるようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ [共通事項] ア (ア) 音色 , リズム , 速度 , 旋律 , 強弱 , 音の重なり , 和声の響き , 調 , 拍の流れ , フレーズ (イ) 反復 , 問いと答え , 変化 , 音楽の縦と横の関係	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①これまでに学習してきたことを生かし、かけがえのない友達と声を合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②これまでに学習してきたことを生かし、かけがえのない友達と音を合わせて一つの音楽をつくり上げて演奏する学習に喜びを感じて取り組もうとしている。	①声の響き、旋律の動きや重なり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、拍の流れによって速度や強弱を工夫し、どのように曲想を生かして歌うかについて、思いや意図を持っている。 ②楽器の音色、旋律の掛け合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、各パートの役割を意識し、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。	①互いの歌声や全体の響きを感じ取り、それらと自分の声を調和させながら、曲想にふさわしい表現で心を込めて合唱をしている。 ②パートの役割を意識し、互いの音を聴き合い、音を調和させながら曲想にふさわしい表現で合奏している。 ③主な旋律と副次的な旋律の掛け合いや重なりを生かして、自分の声を友達の声と調和させて合唱をしている。	/

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲想を生かして表情豊かに演奏しましょう。	<p>きっと届ける</p> <p>そよ風のデュエット</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>●歌詞の内容を理解し、8分の6拍子の曲想を生かして歌う。</p> <p>●音程やリズムに気を付けて二部合唱をする。</p> <p>●歌詞に込められた思いを大切にしながら、響きのある声で二部合唱する。</p> <p>●節奏を聴いて、楽曲の特徴に気付く。</p> <p>●それぞれの旋律を美しい音色で演奏する。</p> <p>●旋律の絡み合いの美しさを生かして、二部合奏をする。</p>	<p>◆これまでに学習してきたことを生かし、かけがえのない友達と声を合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関① 演奏聴取, 行動観察, 発言内容】</p> <p>◆声の響き, 旋律の動きや重なり合いを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 拍の流れによって速度や強弱を工夫し, どのように曲想を生かして歌うかについて, 思いや意図をもっている。</p> <p>【創① 演奏聴取, 演奏観察, 発言内容】</p> <p>◆互いの歌声や全体の響きを感じ取り, それらと自分の声を調和させながら, 曲想にふさわしい表現で心を込めて合唱をしている。</p> <p>【技① 演奏聴取】</p> <p>◆これまでに学習してきたことを生かし, かけがえのない友達と音に合わせて一つの音楽をつくり上げて演奏する学習に喜びを感じて取り組もうとしている。</p> <p>【関② 演奏観察, 演奏聴取】</p> <p>◆楽器の音色, 旋律の掛け合いや重なりを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 各パートの役割を意識し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【創② 演奏観察, 演奏聴取】</p> <p>◆パートの役割を意識し, 互いの音を聴き合い, 音を調和させながら曲想にふさわしい表現で合奏している。</p> <p>【技② 演奏聴取】</p>
歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	<p>さよなら友よ あおげばとうし</p> <p>※ここでは、扱い時数との関連から「さよなら友よ」を二部合唱する展開を取り上げているが、各校の実態に応じて「あおげばとうし」や学校で選曲した式歌を取り上げることも考えられる。</p>	<p>5</p> <p>6</p>	<p>●「さよなら友よ」の範唱を聴いて曲想をつかみ、主な旋律を歌う。</p> <p>●今までに学んできたことを振り返り、音量のバランスや歌い方に気を付けて二部合唱する。</p> <p>●互いの歌声を聴き合いながら、旋律の重なり方を生かして二部合唱する。</p>	<p>◆これまでに学習してきたことを生かし、かけがえのない友達と声を合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関① 発言内容, 演奏聴取】</p> <p>◆主な旋律と副次的な旋律の掛け合いや重なりを生かして、自分の声を友達の声と調和させて合唱をしている。</p> <p>【技③ 演奏聴取】</p>